

ビワ生育情報

千葉県
平成27年6月号

平成27年5月の気象

平成26年5月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は全ての半旬で平年以上となった。月平均気温は18.9℃で、平年より1.2℃、前年より0.8℃高かった。

降水量は第4半旬を除く全ての半旬で平年を下回り、第1半旬は降雨がなかった。月合計は74mmで、平年の42%、前年の46%であった。

日照時間は第4、第5半旬で平年を下回った。月合計は179時間で、平年の96%、前年の72%であった。

表1 平成27年5月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	18.1	16.5	17.5	0	23	8	34	30	38
2	17.2	17.2	16.3	1	24	0	31	30	44
3	18.7	17.2	17.8	9	41	29	35	30	36
4	19.5	17.9	18.4	34	22	8	8	30	54
5	18.6	18.3	17.8	2	34	59	28	31	33
6	20.8	18.8	20.2	30	35	58	43	36	45
平均/計	18.9	17.7	18.1	74	178	162	179	186	248

7月の作業（果実の発育は次ページ）

7月に入ると梅雨も明け、本格的な夏を迎える。収穫後に弱っていた樹は勢いを取り戻し、夏枝の伸長が盛んであるが、根の伸びは鈍くなる。7月の作業は夏の乾燥期に向けて草刈り、敷き草、カミキリムシの防除がある。

草刈り

梅雨明け時期に園内の草刈りを行う。高温乾燥期に草を生やしておく、草に水分がとられ、土は乾燥状態になりやすい。土が乾燥すると花着きはよくなるが、過度の乾燥は樹を弱らせる。草刈りを行い、土の乾燥防止のために刈り草は樹冠下に敷く。

カミキリムシの防除

カミキリムシはリンゴ、イチジク、クワ、ビワなどを加害する枝幹害虫で、ビワに寄生するカミキリムシはクワカミキリが多い。体長は4cm位、体は黒色地に暗黄色の短毛が密生している。幼虫は枝幹中に食入し、木質部を食べて育ち、枝の中心部を食い荒らすため、食害を受けた枝は折れやすくなり、甚だしい場合には枯死する。また食入部の傷口からがんしゅ病が感染することがあるので注意を要する。成虫は産卵のために、7～8月に現れるので、朝夕の活動の鈍いときに捕殺する。卵は見つけ次第つぶす。

果実の発育

6月1日現在のビワの果径は表2に示した。横径は、「楠」では4.41cm、「大房」及び「田中」では3地区の平均でみるとそれぞれ5.11cm、4.73cmであった。本年の横径は、「楠」は平年よりやや小さく、「大房」及び「田中」は平年より大きかった。

縦径は、「楠」では4.44cm、「大房」及び「田中」では3地区の平均でそれぞれ5.39cm、5.27cmであった。本年の縦径は、「楠」は平年より小さく、「大房」及び「田中」は平年より大きかった。

果形指数は、「楠」では0.99、「大房」及び「田中」では3地区の平均でそれぞれ0.95、0.90であった。果形は「楠」は平年より横長傾向で、「大房」及び「田中」は平年並みであった。

着色程度は、「楠」が4.0、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ4.2、3.2で、3品種共に平年より着色が進んでいた。

暖地園芸研究所では早生品種の収穫は5月中旬から始まり、「楠」は5月25日、「大房」は5月28日に始まったが、「田中」は収穫期に至っていない。本年は5月の平均気温が高く、収穫期は3品種共に平年より早く、品種間の差は小さい様子である。

本年は平年に比べ、着花房率が高く、寒害及びクワゴマダラヒトリの被害は少なく、果樹カメムシ類の被害は平年より少ない。そのため、最終的な収量は、平年より多いと予想される。

本年の果樹カメムシ類の発生は、南房総市ほか県南地域で平年より少なく、今後の発生も少ない見通しである。カメムシが毎年発生するような園では、飛来に注意を要し、薬剤防除に取り組む。防除に際しては千葉県農作物病虫害雑草防除指針に従う。

表2 果実の発育（6月1日の果径）

品 種	調 査 地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数			着色程度		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	4.41	4.44	4.36	4.44	4.77	4.73	0.99	0.93	0.92	4.0	3.0	3.2
大 房	青 木	4.86	4.97	4.86	5.12	5.10	5.12	0.95	0.98	0.95	4.2	2.9	2.8
	南 無 谷	5.18	4.97	4.92	5.67	5.12	5.12	0.92	0.97	0.96	4.2	3.0	3.1
	暖地園研	5.27	5.03	5.06	5.40	5.10	5.27	0.98	0.98	0.96	4.2	2.8	2.9
	平 均	5.11	4.97	4.95	5.39	5.11	5.17	0.95	0.97	0.96	4.2	2.9	2.9
田 中	青 木	4.72	4.42	4.13	5.00	4.91	4.88	0.94	0.90	0.85	3.1	1.6	1.5
	南 無 谷	4.72	4.35	4.31	5.47	4.84	4.94	0.86	0.90	0.87	3.4	1.6	1.5
	暖地園研	4.74	4.49	4.57	5.33	4.93	5.08	0.89	0.91	0.90	3.1	1.6	2.2
	平 均	4.73	4.43	4.34	5.27	4.90	4.97	0.90	0.91	0.87	3.2	1.6	1.7

果形指数：横径／縦径

着色程度：1(未着色)、2(黄白色)、3(淡橙黄色)、4(橙黄色)、5(濃橙黄色)

平年：横径、縦径、果形指数は昭和61年～平成26年の29年間の平均、着色程度は平成11年～平成26年の16年間の平均。ただし、南無谷は平成27年から圃場を変更し、異なる圃場の平成10年～平成26年の17年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>